

山口県 人・農地プラン作成事例

平生町

中心経営体を核に連携をとって農地を守ります！

プラン名	大野地区人・農地プラン
プラン範囲	平生町大野地区 該当集落（南上、南下）
プラン決定日	平成 24 年 9 月 11 日
中心経営体	認定農業者 3 人、その他農家 1、任意団体 1、新規就農 1 農地集積面積：現状(H23)3.42ha、将来(H28)6.04ha 農地集積率：35.5%
連携農業者	5 人、提供予定農地面積 0.6ha（現時点での判明分のみ）
今後の地域農業のあり方	高付加価値化、コメント：環境保全型農業の推進を図る。

1 取組経緯

- ◆ 中山間地域等直接支払制度集落協定参加者に対してアンケート調査を実施した。
- ◆ アンケートに回答のあった者の情報を元に、プランの原々案を集落側で作成した。
- ◆ 青年就農給付金を希望する新規就農者があり、プラン作成が急務であった。

2 プランの特徴等

- プラン範囲では、水稻、野菜、花きの栽培が行われている。
- 新規就農者を集落で温かく見守っている。
- 不在地主へ働きかけた結果、新規就農者への農地集積が図られた。

3 プランの取組効果

- ◇ 青年就農給付金の見込みが立ち、新規就農者の経営安定が見込めるようになった。
- ◇ 平生町初のプランであり、他集落でのプラン作成をリードする取組となっている。
- ◇ 当面 10 年間は農地の維持が大丈夫という安心感を持てるようになった。
- ◇ 新規就農者の認知が進み、集落内に溶け込むきっかけとなった。
- ◇ 地域農業の維持に向け、農業者の意識改革がされた。



任意団体のタマネギ調整作業状況



新規就農者の自然薯栽培状況